#### JIS A5914: 2023

#### 断熱建材畳床JIS改正対応

主催:全日本JIS畳床工業協同組合

一般財団法人 建材試験センター

製品認証本部 丸山 慶一郎

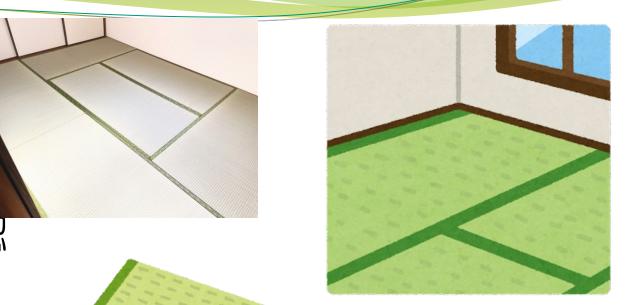
#### 本日のテーマ

• JISA5914改正内容の確認

- 変更申請について
- ・対応期限について
- ・まとめ

#### 別資料

● 審査要綱/試験実施要領について





規格名  建材畳床  1 適用範囲  厚さ50mm、5	4 JISA5914 : 2023	ポイント
1 適用範囲 厚さ50mm、5	断熱建材畳床	社内規格を改正、変 更申請 ・認証書再発行
	mmに適用となった。 50 mm未満では,	厚さを追加する場合は、社内規格を改正し形式検査、変更申請を行う。厚さのバリエーションが増えるので認証範囲を特定する事

項目		JISA5914 : 2018	JISA5914 : 2023	ポイント
2 引用 規格			JISA1412-1保護 熱板法と JISB7512鋼製巻 尺 が追加された。	必要に応じて社内規 格を改正する。
3 用語及び定義	3.3 クッション 材	"畳床 K 形及び N 形"に限定	全ての畳床にクッション材(C)仕様が設定された。	クッション材仕様を 追加する場合は社内 規格を改正し、変更 申請を行う。

項目		JISA5914 : 2018	JISA5914 : 2023	ポイント
4種類	表1	区分表記 I 形	区分表記 畳床 I 形	社内規格を改正し、 変更申請を行う。 ・附属書の再発行
		"Ⅰ形~Ⅲ形"	畳床 I 形〜Ⅲ形に クッション材(C) 仕様が追加になった。 厚さは+3mmとなる。	

\*クッション材は保護材に換えて用いる。

# 規格の概要

#### 表1ー材料及び構造による区分

区分	記号	材料及び構造	参照図
畳床Ⅰ形	KT-I	タタミボード(TB)を主な材料として構成したもの。表面が 保護材仕様のものに加えて、クッション材(C)を用いたクッ ション材仕様のものがある。	図 1
畳床Ⅱ形	KT-II	タタミボード(TB)と押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (XPS)とを主な材料として、2層に構成したもの。表面が保護材仕様のものに加えて、クッション材(C)を用いたクッション材仕様のものがある。	図2
畳床Ⅲ形	KT-Ⅲ	タタミボード(TB)と押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (XPS)とを主な材料として、3層に構成したもの。表面が保護材仕様のものに加えて、クッション材(C)を用いたクッション材仕様のものがある。	図3
以下省略			

(C) JTCCM2023

6

### 規格の概要

#### 表2-標準寸法による区分

区分			記 号
見さ mm	幅 mm	厚さ mm	
2000	1000	55,50,45,40,35,30	100W
1940	970	55,50,45,40,35,30	97W
1850	940	55 , 50 , 45 , 40 , 35 , 30	94W
1820	910	55,50,45,40,35,30	91W

注a) 100Wは本間(京間又は関西間), 94Wは・・・以下省略

注<sup>b)</sup> 表中の畳床の暑さの標準寸法は、畳床 I 形, II 形及びⅢ形では、表面は保護材仕様とする。 クッション材仕様の場合には、3mm加えた値(50⇒53)を畳床の厚さの標準寸法とする。

\*呼び方:クッション材仕様の場合は、実厚さに限らず(C3)と表記する。

7

項目	JISA5914 : 2018	JISA5914 : 2023	ポイント
4種類 表2	<ul> <li>本間(京間)</li> <li>幅 100W,94W,91W</li> <li>長さ</li> <li>50mm、55mm</li> </ul>	<ul> <li>・(京間、関西間)</li> <li>・市場の実態により幅970、記号97W</li> <li>が追加</li> <li>・1940mmが追加</li> <li>(97W)</li> <li>・標準寸法厚さとして55mm,45mm,40mm,35mm 及び30mmが追加された。</li> </ul>	社内規格を改正し、変更申請を行う。 区分の追加は形式検 査を実施する。 ・附属書の再発行。

項目	JISA5914 : 2018	JISA5914 : 2023	ポイント
4種類 表2	・区分1形, 川形及び川形	<ul> <li>表面がクッション材仕様の畳床 I 形及び畳床</li> <li>II 形及び畳床</li> <li>III 形の場合,3mm加えた値を畳床の厚さの標準寸法とする。</li> <li>50mm⇒53mm</li> </ul>	内規格を改正し形式 検査、変更申請を行

9

項目	JISA5914 : 2018	JISA5914 : 2023	ポイント
4種類 表4	・畳床1枚の質量は規定の±15%	<ul><li>・畳床1枚の質量が 参考値になった。</li><li>・畳床厚さに応じた 材料厚さが整理され た。</li></ul>	質量は参考値だが、 要求があれば適用するため確認しておった。 ことの組み合わせが 変更となる場合は、 社内規格を改正し形 式検査、変更申請を 行う。

項目		JISA5914 : 2018	JISA5914 : 2023	ポイント
5品質	表5	・熱抵抗値は省略しても良い。	・熱抵抗の表示は、 "次の事項を表示し なけらばならない" となった。	低減係数が変更に なっている。また、 K形は計算式が変更、 社内規格を改正し形 式検査、変更申請を 行う。
		厚さ50mm、55mm	畳床厚さ50mm未満 の場合はたわみ量の 規定が除外された。	50mm未満を追加する場合は、社内規格を改正し型式検査、変更申請を行う。

項目		JISA5914 : 2018	JISA5914 : 2023	ポイント
5 品質	表6		熱抵抗の表示値 が見直された。	附属書Aの低減係数 が変更となっている ので、形式の再計算、 変更申請が必要。
6構造	図 1	I 形ではタタミボードの重ねが3枚以上	畳床 I 形ではタタミボードは2枚以上に変更。 畳床 I 形〜Ⅲ形に クッション材が追 記された。	該当する場合は、社 内規格を改正し形式 検査、変更申請を行 う。

項目	JISA5914 : 2018	JISA5914 : 2023	ポイント
7材料及び製造	旧JISA9521引用 箇条 6.8(密 度),5.1(特性), 附属書C(燃焼性試 験方法)	JISA9521の改正 により引用箇条が整 理された。C.10 (密度),表11(発 泡プラスチック断熱 材の特性)	社内規格を改正。
8試験	(C) JTCCM2023	寸法測定器具に JISB7512鋼製巻 尺又はこれと同等以 上が明記された。	必要に応じて社内規 格を改正。 13

項目	JISA5914 : 2018	JISA5914 : 2023	ポイント
9熱抵抗	試験法が JISA1412-2附属 書B保護熱板式熱流 計法のみ	JISA1412-1保護 熱板法(GHP法) 又はJISA1412-2 熱流計法(HFM 法)に変更になった。	社内規格を改正し変更申請。
10検査	形式検査項目	具体的に明記された。 <ul><li>・寸法、縦糸の間隔及び縫目間隔</li><li>・性能(含水率、たわみ量、局部圧縮量及び熱抵抗)</li></ul>	社内規格を改正し変

項目	JISA5914 : 2018	JISA5914 : 2023	ポイント
11呼び方	材料及び構造による 区分の表記 ・クッション材 =なし • PS	材料及び構造による 区分の表記が変更に なった。 ・クッション材 =C3 ・XPS	社内規格を改正し変更申請。
12表示	<ul><li>熱抵抗値</li><li>熱抵抗値は省略しても良い</li></ul>	<ul><li>熱抵抗</li><li>表示しなければならない。となった。</li></ul>	省略していた場合は、 社内規格(表示)を 改正し変更申請。 ・附属書の再発行。

項目	JISA5914 : 2018	JISA5914 : 2023	ポイント
附属書A	断熱性低減係数が O.9	断熱性低減係数が O.95	社内規格を改正、形 式検査を実施して変 更申請。

\*熱抵抗は、維持審査時に代表的な製品の構成から、1種類を選定して試験(計算)を実施する。【維持審査】

### 変更申請について

事項 個所は必須事項	社内規格の 改正	議事録	変更申請書 (実施状況説明書の変 更箇所明示版を添付)	形式 データ	臨時審査
規格名称	0	0	0		_
区分(厚さ)追加	0	0	0	0	_
クッション材追加	0	0	0	0	_
表記修正(畳床等)	0	0			
熱抵抗の計算	0	0	0	0	_
構造の変更	0	0	0	0	_
呼び方	0	0	0	_	_
表示(熱抵抗)	0	0	0		_

変更申請書は、変更の年月日ごとに作成する。

### 変更申請について(例)

変更事項	変更の内容		変更の	変更の理由
	変更前	変更後	年月日	
規格名称	建材畳床	断熱建材畳床	〇年 〇月〇日	JIS改正による 変更
種類	厚さ50mm	厚さ50,35,30㎜等	11	11
品質	外観 寸法・質量の許容差,縦 糸の間隔及び縫目間隔 性能(含水,たわみ,局 部圧縮)	外観 寸法の許容差,縦糸の間 隔,縫目間隔及び <mark>質量</mark> 性能(含水,たわみ,局 部圧縮及び <mark>熱抵抗</mark> )	11	11
構造	I 形(TB)3枚以上	畳床 I 形(TB)2枚以上	11	11
原材料	_	クッション材	11	11
熱抵抗	低減係数O.95	0.9	11	11
製品の呼び方		C3, XPSが追加	11	11
表示	熱抵抗値:省略	熱抵抗:表示する	11	<i>  </i>

#### 対応期限について

変更申請書の様式、提出方法は、当センターHP参照 【JIS】変更申請

https://www.jtccm.or.jp/biz/ninsho/tabid/344/Default.aspx

- JIS改正日: 2023年6月20日
- 移行措置期限: 2024年6月19日(1年間)
- 変更申請書の提出期限:2024年6月19日

JISA5901「稲わら畳床及び稲わらサンドイッチ畳床」は同時改正ではありません、混同しないように!

注意事項:材料追加、構造変更に該当する場合、形式検査結果が 必要となるため、必要に応じて早めに準備する必要がある。

19

#### おわり

- 本日は、お忙しい中お運び頂き、ありがとうございました。
- 「JISA5914断熱建材畳床」の改正対応には期限がありますので、遅れずに、必要な対応をよろしくお願いいたします。
- 本日の講習内容が、今後の生産活動にプラスとなりますよう祈念しております。

東京都中央区日本橋堀留町1-10-15 JL日本橋ビル8F TELO3-3808-1124

相談窓口 jis\_ninsyoka@jtccm.or.jp

#### おしらせ

- ・認証料金の改定について
- 2023年10月1日より、改定料金が適用されます。
- ただし、前倒し協力の場合は据え置きとなります。
- 新料金の概要は次の通りです。

項目	旧料金	新料金	増減
初回認証審査	462,000	475,000	2. 8%
維持審查	314,000	355, 000	13.1%
臨時審查	142,000	190,000	13.3%
旅費	審査員拠点からの実費	1人一律10,000	